

西播磨認知症ケア実践研修

特定非営利活動法人 播磨認知症サポート
〒679-4165 兵庫県たつの市龍野町本町 4 7 番地

助成事業の概要

1. 実施目的

本事業は、都市部を中心に行われる認知症ケアの研修に参加する機会の少ない、西播磨在住・在勤で、経験の浅い介護職員に研修を提供することで、その職員らが「認知症」を深く理解し、認知症を有する利用者への実践的なケアの方法を学び、介護現場の認知症ケアの質ならびに職業意識を向上させていくことを目的とする。

2. 実施時期と内容

○6月26日（日）

「認知症」の理解とアセスメント

講師：重森健太氏（関西福祉科学大学学長補佐）

認知症の方に提供するレクリエーション

講師：尾渡順子氏（社会福祉法人興寿会教育実践
研修センター所長代理）

○8月7日（日）

認知症の方の心理を探る

講師：NPO 法人播磨認知症サポート（現 NPO
法人播磨オレンジパートナー）

○9月3日（土）

全職種で取り組む認知症アプローチ

講師：田中義行氏（株式会社大起エンゼルヘルプ
理学療法士）

○11月～12月 報告書作成・参加者および介
護事業所等へ送付

事業の成果

（1）「認知症」の理解

経験の浅い職員は、ヘルパー研修等の座学で認知症に関する基礎的な知識を学んだ後に、デイサービスや特別養護老人ホームなどの介護事業所に就職し、認知症を有する利用者のケアの実践を行うようになるが、知識が不十分であったり、知識があってもそれをうまく実践に生かすことができなかつたりしている。

「認知症」に関する基本的な知識を再確認することで、「忘れていたことを思い出した」「実際のケアへの生かし方が分かった」等の感想を得ることができた。

また、近年の新しい研究結果と認知症の進行予防の方法について学ぶことができ、現場のケアにそれをどう反映させるかを考える機会になった。

（2）「認知症ケア」の理解

尾渡順子氏のレクリエーションでは、レクリエーションが、利用者を単に楽しませるための「遊び」ではなく、身体機能の向上や脳の活性化を促す活動であることを知り、それをどのように提供するかを複数のレクリエーションを通じ、実際に体験しながら学ぶことができた。

それまでは、日々のスケジュールの中で、レクリエーションの意義を知らず、進行役に苦手意識をもちながら行うことが多かったが、明日からの実践してみたいという意欲的な感想が見られた。

また、田中義行氏の講義では、理学療法士の視点から、認知症を有する利用者に対して、どのよ

うなアプローチが適切であるか、またそれを全職種がいかに共有していくことが、利用者へのより良いケアにつながるかというチームケアの在り方について学ぶことができた。

（3）事業所を超えた関係づくり

1 日だけの研修ではなく、同じ顔触れで複数回行う研修だったこと、講義だけではなく、ワークショップを取り入れたことで、参加者同士が顔なじみになり、他事業所の取り組みや介護職としての悩みなど情報交換ができ、1つの事業所に勤務する「自分」ではなく、介護を職業とする専門職である「自分」といった意識が芽生えさせることができた。

（4）自己研鑽への意欲向上

介護の研修で、受講証明書を発行する研修はあまりないが、仕事のない日に研修に参加し、自己研鑽を積んだことを讃え、また本人のキャリアアップにつながるようにと受講証明書を発行したが、次回の研修にも参加したいと全受講者が連絡先を残したことから、学びが実践と連動し、より良いケアにつながることを感じてもらえたものと思う。

Facebook 等でも紹介し、希望者に提供できるように努める予定である。

今後の展開

今年度は、第 1 回目ということで、「認知症」の概論的な内容のものを企画したが、3 回の連続研修であったことや、講義とワークショップという形式が受講者にとっていいことが分かり、2 回目以降も同様の形式で開催したいと思う。

経験の浅い介護職員は、「認知症」の理解も不十分であり、経験が浅いがゆえに、認知症のある利用者へのケアにも自信を持たずにいるので、続けて第 2 回、第 3 回と実践を意識した認知症ケアの研修を企画し、介護職員の質向上、意識向上につなげていきたい。

「認知症ケア」は、認知症を有する方に対する衣食住すべてに関わることでテーマも多様であるので、年度ごとにテーマを定め、そのテーマを専門とする講師を厳選し研修を行うと同時に、認知症の基礎を学ぶ講座も繰り返し行っていきたいと思う。

成果の広報、公表

1 回の研修ごとに Facebook を通じて、会場の雰囲気やその日のテーマなどを配信した。

また、研修の内容と成果については報告書をまとめ、参加者や関係機関に配布した。今回の研修に参加できなかった事業所や介護職員らに情報を共有し、より良い認知症ケアについて関心を高めていただきたいと同時に、都市部に劣らない内容の研修が、地元西播磨でも受講できることを知っていただきたいと思っている。

報告書については、当法人のホームページや